てんぐ新聞

'13.12 No192
発行 市岡聡
連絡先 0883-86-5292

田舎暮らし

20年目に入りました

今年で二年あと二年目余りになりました。Uターンして、田舎暮らしをはじめて、二年が経て、生きて、一番長く祖谷で暮らしていることになります。

実に、楽しい面白い祖谷の暮らしをしてきました。無目的、無目標でUターンして、多くの皆さんと出会え、学び、そして、祖谷という土地に目がほそはじめ、自然に対しても近ずきはじめ、山を知りはじめ、植物、生物に興おくと、本当にいい所だと感じてきました。

本当に、祖谷というブランドを大切にしたいと感じる様になりはじめると、観光のありオから、自分の生き方も本当に、これだけはいけないのないかとおもえてきました。これも、祖谷という地方が教えてくれたのだとおもいます。

Uターンして二年目の今年はぶっと山の仕事をしてきました。森林組合や森林造林署のお手伝いすることが二日に一回はあり、その間に、剣山、三嶺、次郎笈、矢筈峠などの祖谷の山にも登り、楽しみました。

祖谷の山の植林

祖谷の山の植林もほとんどが、国有林の中を「仕事」で歩いているのですが、なんとなくいいのですが、国の方針で植林しなければ植林もしません。国の方針で、杉檜の山がいたる所にあり、それの多くが放置せざるを得ない現状。お金にならない。国の方針でもお金にならない。国の方針で植林したのだ、この杉檜をお金になる様な方針をおせばいいのに……なんと感じます。

国有林の中を「仕事」で歩いています。採金で管理している山々です。測量したり、下草を刈ったりをしてますが、いろいろな珍しい植物、木々が大変多くなっている様に思います。多くは、薬の原料となっているのです。

ありがとうございます。

など、見かけるのが、めずらしくなっています。

こんなに自然がいっぱいなのに。

どうしてなのか知りません。

そういえば、ホタルもみません。ホタルの幼虫は、人が生活してる所がは、ホタルが増えてるらしいけど、昔は、生活しやすいところ、飛んでたんだけど。

あという間に二年。

引越しの荷物を友人と共にトラックで運んで、祖谷トンネルをぬけ、祖谷の地に入ると、満景色だった九三年十二月。

道路事情は雪にはよくなりましたが、冬場もドアトゥードアです。

三年目も山道を歩き帰ってくるのがウソの様な便利さです。